

二本松商工会議所
経営発達支援計画 事業評価検討会 評価表

評価基準

- A：実施され効果が見られたもの、もしくは期待できるもの。
- B：実施されたが、目に見えた効果が見られないもの。
- C：実施されたが、大幅に目標を下回っているもの。
- D：実施されなかった。

当所経営発達支援計画の事業評価に際し、別紙『令和5年度二本松商工会議所経営発達支援計画事業報告書』をご参照の上、A・B・C・Dいずれかに○を付けてください。その際、別段に設けた記入欄にご意見等ございましたら、ご記入願います。

I. 経営発達支援事業の内容

【地域の経済動向調査に関すること】

- 地域の経済動向分析
- 管内経済情勢の把握

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

- ・二本松市の地域経済分析で二本松市のマクロ的な経済状況を把握し、経営状況調査で、管内事業所が抱えるミクロ的な経営課題等の把握を行うことができています。
- ・今後は、地域経済分析については、その数値の解釈等についての説明を加えることで、管内の経済状況の捉え方がより明確になると思われる。
- ・また、事業承継支援については、市と商工会議所で連携して、外部の専門支援機関を活用した継続的な支援体制の構築と実行を進めていくことを期待したい。

【需要動向調査に関すること】

- 「にほんまつ菓子博」での商品調査
- 「二本松家具まつり」での商品調査

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

- ・商品調査は、市場や顧客の生の声を拾い上げることができる貴重な機会であり、そのような場を提供するのは、管内事業所にとって非常に有益である。
- ・一方で、アンケート調査はその目的によって、調査する先や項目が変わるため、設計段階から専門支援機関の助言を受けながら、前後の実施内容もセットで進めていくことが望ましい。

【経営状況の分析に関すること】

○経営分析事業者数

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・経営分析を行った事業所のうち、約半数が事業計画策定を行い、資金調達など何かしらの成果を得ているものと推測される。

【事業計画策定支援に関すること】

○事業計画策定

○DX推進セミナーの開催回数

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・事業計画策定の機会は管内事業所にとって、経営改善を導く絶好の機会であるため、今後は、複数の職員が実施できるようにすることで、支援先の拡充を図っていただきたい。

【事業計画策定後の実施支援に関すること】

- フォローアップ対象事業者、頻度
- 売上増加事業者
- 経常利益増加事業者

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・事業計画を策定した事業所へのフォローアップを継続的に行うことで、伴走支援を行う仕組みが機能している。また、セミナーを受講した事業所へのフォローアップなどもあるとなおよい。

・厳しい外部環境の中で、売上や利益を増加させることは容易ではないと推測されるが、外部の支援機関や専門家などと連携した支援を行うことで、今後売上、利益が増加する事業所が増えることを期待したい。

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

- 伊達な商談会への出展支援
- SNS・ECを活用した販売促進

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・伊達な商談会への出展支援については、FCP展示・商談シートを作成したことで、商品力のブラッシュアップを図ることができたが、展示会に出展することができなかったため、来年度以降は、年間スケジュールの中で、どの展示会にどのような目的をもって出展するかを事前に想定したうえで、実際に商談までつながる支援に発展することを期待したい。

・SNS、ECを活用した販売支援については、管内事業所の関心が高い分野であり、セミナー終了後に実行支援し、売上増加につながっていることから、今後も継続的な実施を期待したい。

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組
【事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

今年度から二本松市も評価委員に加わったことで、複数の視点からの評価及び検証を実施することができるようになったことで、事業の推進力が高まったものと思われる。

【経営指導員等の資質向上等に関すること】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

・年間通じて計画的に経営指導員の資質向上を図ることができている。特に、周辺の商工会と共同での研修会の実施は、県内でも珍しく周辺地域との横のつながりの構築や連携支援につながることから来年度以降も継続開催することが望ましい。また、研修カリキュラムについても、3年計画にするなど、長期的な人材育成計画に基づき資質向上を図っていくことが望ましい。

以上、令和5年度二本松商工会議所 経営発達支援計画の事業評価について、ご報告いたします。

令和6年3月18日

相馬 由寛



二本松商工会議所 経営発達支援計画